

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
政治経済	2	全類	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		改訂版 政治・経済 (山川出版社)	授業プリント等で教科書を補う

### 科目の到達目標

経済分野を中心に学習し、自らが主体的に社会にかかわっていく力を身につけさせる。  
 時事的内容も取り上げ、現代社会への関心を高めることも目標にする。  
 また、センター受験者に対しては、基礎を抑えることの大切さを強調し、実際の問題にもあたらせる。

### 評価の観点と方法について

年3回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4 ・経済社会の変化	経済の役割、資本主義経済の特質と問題点、資本主義経済の変容について学ぶ。	人間と経済活動 資本主義経済の発展と変容	授業中の興味・関心・態度
	5 ・現代経済のしくみ	社会主義経済について学ぶ。	社会主義経済の発展と変容	
	6	株式会社のしくみや企業の社会的責任について学ぶ。	経済活動の主体	
	7	市場経済のしくみを知り、市場における政府の役割を学ぶ。	市場経済のしくみ	
		インフレ・デフレのしくみと影響、物価安定政策について学ぶ。	物価の動向	
		ストック・フローの概念、国民所得と景気変動のしくみを学ぶ。	国民所得と経済成長	
				ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	・日本経済の発展と 国民福祉の向上	財政の役割と租税の種類、また日本の財政の課題について学ぶ。	財政のしくみと租税	授業中の興味・関心・ 態度
	10		銀行の役割、金融政策について学ぶ。	金融のしくみと働き	
	11		戦後の日本経済・高度経済成長の特徴とその課題の特徴を学ぶ。	戦後日本経済のあゆみ	
			日本経済における中小企業の役割、中小企業が抱える問題について学ぶ。	中小企業と農業・食料	
	12		労働運動の歴史とその成果・労働問題の現状と課題について学ぶ。	労使関係と労働市場	
		各国の社会保障制度とその課題について学ぶ。	少子高齢社会と社会保障	ノート提出 期末考査	
三 学 期	1		消費者問題と消費者保護	消費者問題と消費者の権利	授業中の興味・関心・ 態度
	2				ノート提出 学年末考査
	3				
<p>その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） 必要に応じて、入試対策として過去問・実践問題演習やプリント配布等を行う。</p>					